

田中美貴子 MIKKO NEWS 議会報告



「田中美貴子 第1回府政報告会」～『夢を形に』をテーマに！

於 パルティール京都 平成28年3月2日 午後6時半～



夢を実現させる為に努力を重ねている方、夢を模索中の方、幸運にも夢を実現させた方、多くの皆様がいらっしゃる中で、当日は、10代～40代の若い世代の6名の方にパネラーとして参加いただき、私がコーディネーターとして、それぞれの思いをお聴かせいただきました。

いきいきと安心して暮らせる社会の実現にむけて、今地域社会は何を受け止め、何に取組んでいかなければならないのかを、皆さんとともに考え、共感の輪を広げるきっかけにしていきたいとの強い思いで、開催をさせていただきました。

「ひとを育てる」…

柔軟で感性の豊かな時に、未来ある子ども達にしっかりと教えねばならないと思うことがたくさんあります。

それはひとえに教育の充実であり、先を歩く人たちが責任を持って携わる事。

人が育てば、その周りの人たち、

「仲間を育てる」事が出来ます。

仲間というのは、ともに同じ方向を見て、同じ感性で、お互いを思いやる人たちの集まりだと思っています。

仲間がつながり、仲間が育てば、それぞれの地域の特性・課題・文化を中心とした、

「仕事を育てる」事が出来ます。

まさに、NPO等がその大きな方向性であると思っています。

NPOは、もうひとつの公共として、行政の行き届かない、自分たちの目線で物事を進めることが出来る仕組みです。

地域の中の課題や問題を、培われた文化の中で、地域で完結させる。

わざわざ、通勤に時間を割くのではなく、地域の中で働く場所がある。

地域の中に、仕事があるのです。

仕事を育てる事によって、

「生きがいを育てる」事が出来ます。

誰かの役に立っている。そう思える事が生きがいです。

一旦、リタイアした人たちにも、生きがいとして、地域の中で活躍をしていただきます。

子育て支援、介護など、まだまだ人手が不足をしています。

あと少し手をさしのべる事によって、助け合う事が出来ます。

生きがいを育てる事は、その人の居場所を確保する事になります。

自分の居場所の確保は、

「暮らしを育てる」事になります。

私たちの生活はすべて、この暮らしが中心となっています。

暮らしの安定こそが、私たちの目指すべき社会の実現と思っています。

人と人がつながりあって、暮らしを安定させていく。

人は、決して一人では生きてはいけません。

多くの方が少し手をさしのべる事によって、又地域の中で役割を持って人を支える事によって、生きがいをもち安心して暮らせる事が私達の目指す社会の実現であると考えます。

多くの出会いから、色々な事が生まれ育っていく。

第1回の府政報告会は、会場の皆様と、パネラーの出会いであり、共感いただいた皆様と一緒に、ひとつの思いが生まれた瞬間だったと確信しています。

京都府の平成27年度2月補正予算と平成28年当初予算

総額9,682億9,900万円の概要

人 間 支 援	●「子育てピア」サポート事業 …………… 2億400万円
	●京の子育て応援総合融資等事業 …… 12億9,200万円
	●京都式「学力向上教育サポーター」事業 …… 1億3,100万円
	●1(ひと)まち1(ひと)キャンパス事業 …… 3,000万円
	●「女性輝き」事業 …………… 9,200万円
地 域 ・ 文 化 ・ レ キ ャ ン	●「小さな企業」特別支援事業 …………… 1億3,000万円
	●商店街・商店群創生事業 …………… 1億4,000万円
	●未来を担う中小企業人材確保事業 …… 1億1,200万円
	●障害者雇用率2.2%達成事業 …………… 3億8,300万円
	●再生可能エネルギー増進事業 …………… 17億8,100万円

地 域 ・ 文 化 ・ レ キ ャ ン	●「森の京都」事業(全国樹祭開催含む) …… 24億9,200万円
	●「お茶の京都」事業 …………… 14億8,100万円
	●「もうひとつの京都」広域DMO設立事業 …… 1億3,300万円
	●ぎょう住(ずまい)促進事業 …………… 1億7,400万円
	●スポーツ・文化・ワールド・フォーラム開催事業 …… 3,000万円
交 通 ・ 機 関	●京都式地域包括ケアセカンドステージ事業 …… 57億2,500万円
	●予測型犯罪防衛システム(京都システム)構築事業 …… 5,900万円

保育士等の 処遇改善等を 求める意見書

現場の声を聞き作成された意見書が、2月議会で全会一致で採択されました。